



No. 92

こしがや シルバー だより



写真提供：島田 治会員

— 目 次 —

- 表紙・・・キャンベルタウン公園 時計塔
- P2～3・・・令和5年度定時総会開催報告
- P4・・・新旧理事長挨拶
- P5・・・安全・クレーム撲滅標語受賞発表
- P6・・・私たちの住む街
大沢地区 キャンベルタウン
- P7・・・安全ニュース
- P8・・・入会のご案内、編集後記

発行 公益社団法人越谷市シルバー人材センター
編集 広報委員会

〒 343-0023 越谷市東越谷1-5-6
産業雇用支援施設3F

TEL：048-967-4311

FAX：048-962-8300

E-mail koshigaya@sjc.ne.jp

U R L <https://webc.sjc.ne.jp/koshigaya/>

令和5年度 定時総会開催報告

令和5年6月20日（火）、第43回令和5年度定時総会が開催されました。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大規模会場での開催を自粛し、産業雇用支援施設3階のシルバー会議室で、規模を縮小して開催されました。

はじめに吉田種盛理事長から「本年も感染防止のため規模を縮小して開催し、委任状でのご対応をお願いいたしました。3年以上に及ぶ新型コロナウイルスによる収入減、10月より導入予定のインボイス制度による新たな多額な財源負担の必要等、厳しい状況が続きますが、真摯に取り組んでまいります。

事業実績について、事業計画方針の柱である会員の拡大につきましては、企業の定年延長等で高齢者の就業機会の選択肢が増えるなか、委員会等関係各位の熱量を持った取り組みにより、98.7%に止まりました。

受託事業収益については2.2%の減となりましたが、シルバー派遣事業は2.9%増の実績となりました。

会員の皆様の仕事に対する真摯で誠実な姿が、市民の皆様や発注者各位に評価されたものと存じます。

今年度も厳しい経営環境が続くことが想定されますが、安全就業の推進、会員の確保、財政の安定、楽しい仲間づくりを掲げ、中長期計画に取り組んでまいります。新型コロナウイルスへの対策を講じつつ、引き続き事業運営に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。」と挨拶がありました。

続いて、吉田理事長による開会宣言ののち、資格審査報告がありました。総会員数1,322名に対し、事前に事務局に届いた委任状および当日の出席者の合計899名をもって、定款第18条に定める定足数を満たし、総会は有効に成立いたしました。

議長選任を行った後、議事に入り、報告事項5件ならびに議案2案件が提示されました。審議の結果、報告事項に異議はなく、議案も原案のとおり可決承認されました。

本年度は6月20日をもって役員改選となり、全員異議なく賛同を得て、新役員が承認されました。また、吉田種盛理事長、中澤廣一理事、小泉義男理事、田村順一監事の4名が退任となりました。

その後は議長退任ののち、奥山茂子副理事長の挨拶をもって総会は無事終了いたしました。

● 報告事項 ●

1. 監査報告
2. 事業報告
3. 収支補正予算報告
4. 事業計画報告
5. 収支予算報告

● 決議事項 ●

1. 令和4年度 貸借対照表及び損益計画書
(正味財産増減計画書)、財産目録の承認
2. 役員選任の承認



定時総会の様子

役員改選のお知らせ

本年度役員改選により、総会終了後の理事会におきまして「理事長」の交代となりました。紙面を借りて、役員を紹介させていただきます。

新理事長

なかむら つぎお
中村 次男



新理事名簿

		氏名	所属委員会
理事長	新	中村 次男	業務委員会
副理事長		奥山 茂子	組織委員会
常務理事		江原 勝明	事務局 長
理事		稲垣 弘明	業務委員会
〃		遠藤 由紀子	組織委員会
〃	新	太田 清	安全管理委員会
〃	新	加賀谷 朗	業務委員会
〃		小林 肇	安全管理委員会
〃		島田 治	広報委員会
〃		高橋 孝子	就業開拓委員会
〃		立澤 幸子	組織委員会
〃	新	田中 祐行	越谷市環境経済部長
〃		土居 曜子	広報委員会
〃	新	望月 順次	広報委員会
〃		山崎 かえで	就業開拓委員会
監事	新	中村 節男	就業開拓委員会
〃		馬場 広志	組織委員会

理事長交代のご挨拶



理事長退任のご挨拶

前理事長 吉田 種盛

この度、6月20日の定時総会をもちまして、理事長を退任いたしました。

在任中は、会員の皆様をはじめ、役員、事務局職員の皆様方からのご指導、ご協力をいただき2年間の職責を無事に果たすことが出来ましたこと、深く感謝申し上げます。

振り返りますと、2009年11月に会員として登録、2011年：理事就任以来、2015年：常務理事2年、副理事長6年、理事長2年と長きに渡りシルバー人材センターの運営に携わらせて頂きました。

理事長就任後は、新型コロナ感染の終息が見えない中、理事会、委員会、入会説明会の中止や顧客からの注文のキャンセル等厳しい状況が続きました。その間、会員の就業拡大を図るとともに、「安全就業はすべてに優先する」をモットーに取り組んでまいりました。

この間シルバー人材センターの流れが分り、役職員及び会員のご支援、ご協力により大過なく務める事が出来、また、多くの仲間を得られたことは私の大きな財産となりました。

シルバー人材センターの取り巻く環境を考えると、定年延長、インボイス制度の導入、適正就業の法令順守など厳しさが増しております。

このような厳しい状況下であります、高齢化社会が急速に進んでいる現在、シルバー人材センターの役割は益々重要性を増して来ています。これからも誠意と責任ある活動、社会参加を通して地域社会発展の貢献に努め、お客様や地域に愛されるセンターになるものと期待しております。

越谷市シルバー人材センターの益々の発展と、会員、役職員皆様のご活躍、ご健勝を心よりご祈念申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



理事長新任のご挨拶

新理事長 中村 次男

この度、吉田前理事長のご勇退のあとを受け、理事長に選任いただきました。

令和に入り、新型コロナウイルスの世界的な拡大により、長い間の行動制限等から社会経済活動に及ぼす影響は大きく、また、当センターにおいても就業制限や契約解除等により実績を伸ばすことが出来ず、感染症の拡大を防ぐために我慢の毎日を過ごされたことと思います。

本年度に入り、感染症法上の位置づけが「5類感染症」に引き下げられたことにより、ようやく明るい兆しが見えてまいりました。しかし、シルバー人材センターは、高齢者団体であることに変わりはありませんので、気持ちを引き締めて感染対策を継続しつつ、これまで新型コロナウイルス感染症により、第2次中長期計画が思うように進めることができておりませんが、①会員数の拡大（増強）、②就業機会の確保、③安全・適正就業の徹底の3項目を柱として、再出発に向けて様々な事業に取り組んでいく所存です。

地域社会に根差した魅力あるセンターを目指し、会員・役職員一丸となって事業を推進してまいりたいと思いますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

安全標語・クレーム撲滅標語 受賞者発表

越谷市シルバー人材センターで募集しました、令和5年度安全標語、クレーム撲滅標語の受賞者を発表いたします。例年定時総会にて表彰式を実施しておりましたが、縮小開催に伴い紙面での表彰に代えさせていただきます。受賞者の皆様、この度はおめでとうございます！

●安全標語受賞者●

金賞：無理をせず 焦らず慌てず 気を抜かず
(蒲生地区 半田 誠会員)



銀賞：もう良いと 思わず確認 もう一度
(大相模地区 高木 正美会員)



高木会員

中村会員

銀賞：慣れてこそ さらに引き締め 身と心
(増林地区 中村 次男会員)

●クレーム撲滅標語受賞者●

金賞：誠実な 仕事で応え 信頼を
(大相模地区 石井いつ子会員)



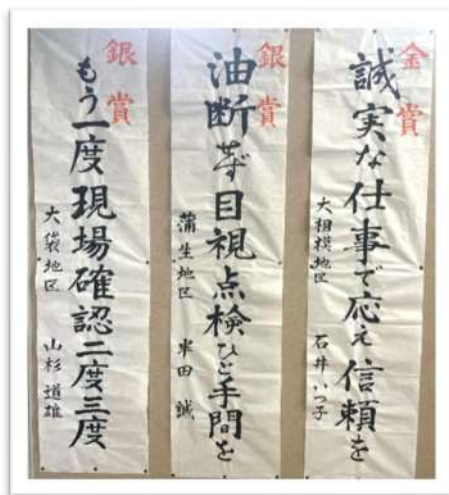
銀賞：油断せず 目視点検 ひと手間を
(蒲生地区 半田 誠会員)



半田会員

山杉会員

銀賞：もう一度 現場確認 二度三度
(大袋地区 山杉 道雄会員)



連載：私たちの住む街

【第9弾 越ヶ谷と大澤 その1】

越ヶ谷宿は、日本橋から数えて3番目の宿場で、江戸から6里8町、草加から1里28町の宿場町。

大沢地区あたりは、昔は「下総国」だった

江戸時代の頃までは、越ヶ谷側が武蔵国埼玉郡、大沢側が下総国新方庄で元荒川を挟んで二つの国の境界。

赤丸○は、現在の「元荒川」の流れです。

蛇行(湾曲)地帯の「袋山」「花田」は武蔵国、左岸側は下総国。そのため、久伊豆神社は越ヶ谷の町と陸続きだったのが、現在では元荒川の寺橋を渡るようになった。

大沢橋と鯉鮎屋

大沢橋は越谷市の越ヶ谷宿と大澤宿を結んで元荒川に架かる長さ50mの橋です。明治13年(1880)元荒川に大橋(大沢橋)が完成。昭和28年(1953)現在の橋に架け替えられた。それまでは木造であり昭和42年(1967)に現在の橋が完成。川の左岸(大澤宿)橋のたもとの「鯉鮎屋」は、元和元年(1615)創業。2010年2月に火災に遭い、現在は公園になっている

花柳界 (現在はありません)

「大沢橋から大蛇が出て、大澤通ひはやめられぬ」

と※俚謡(りょう)にも歌われている。大澤橋のたもと(現在の橋の北越谷寄り)に遊郭があった。江戸時代の大澤遊郭は奥州街道での名物にあげられたくらいである。明治3年の廃郭令後も茶屋小屋が盛んで大澤に芸妓酌婦の絶える事は無かったそう。

料理店：天芳樓(天ぷら 鰻の馬鹿焼き)と加賀屋(川魚料理)、橋際の「鯉鮎屋」(右図赤丸)などでは連夜三弦の音が絶えなかったそう。

ほかにも大小の茶屋小屋があった様だが大正5年頃でも6軒の芸妓屋があったが、その後衰退した。

キャンベルタウン公園

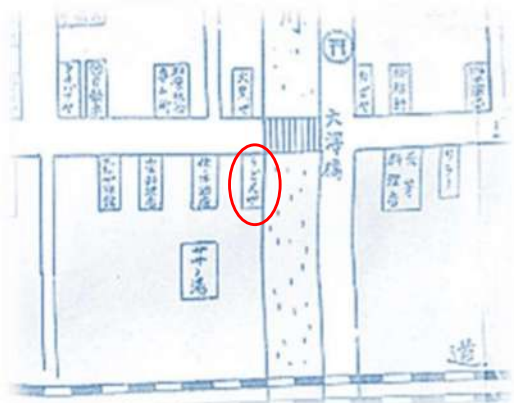
東大沢にある「キャンベルタウン公園」は、1984年4月11日に越谷市とオーストラリアのキャンベルタウン市が姉妹都市となったのを記念して、1986年に整備された公園だ。正式には「鷲高第五公園」と言う。公園には、逆川沿いに「時計塔」、公園入り口に「石碑」がある。

北越谷駅

創設当初は「越ヶ谷駅」と呼んでいた。大正9年に越ヶ谷町に新駅が出来て「武州大沢駅」となった。

駅の創設は明治32年に遡る。駅舎には皇族関係者の休憩所(貴賓室)があり、ここから御猟場(現・鴨場)へ馬車で移動していたそう。

※ 民謡の同意語。明治から昭和20年代まで用いられたが、今日では死語となっている。「民間で歌い伝えられた歌、俗謡」をいい、田舎らしい唄、田舎の唄



キャンベルタウン公園
野鳥の森 案内板より

参考文献 越谷市ホームページ

広報 こしがや H16年秋号

越谷ふるさと散歩 越谷の歴史物語

安全ニュース

安全管理委員会よりお知らせ

自転車に乗る時はヘルメットを着用しましょう！

令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化となりました。すでにヘルメットを着用している方もいらっしゃいますが、まだ少数派のようです。

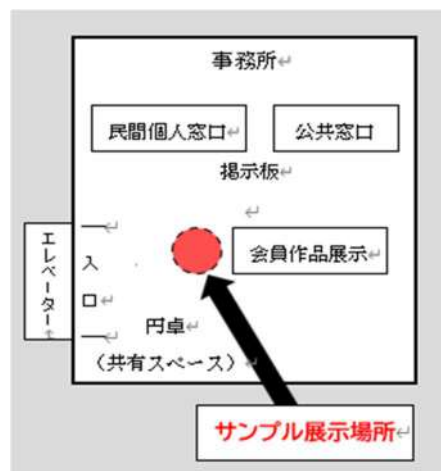
埼玉県警の発表によると、昨年度県内の自転車事故で亡くなった約7割の方が頭部に致命傷を負っているとのこと。また、警察庁による全国規模の分析（平成30年～令和4年度データ）では、自転車ヘルメット非着用時の致死率は、着用時に比べて、約2.1倍も高いことが分かっています。

昨年度、当センターで発生した自転車事故は1件でした。頭部への負傷はありませんでしたが、バランスを崩して転倒し、6カ月以上の入院という重篤事故になりました。

年齢を重ねると筋力の低下から、自転車を使用する時にバランスを崩して転倒するリスクが高くなります。

万一の事故の際、命を落とす危険もある頭部への負傷から皆さんを守ってくれるのは自転車ヘルメットです。まだヘルメットを着用していない方は、早急に着用していただくようお願いいたします。

当センターでは、購入の際の参考になるように事務局内にサンプルを展示してあります。ご来局の際にぜひ手に取ってごらんください。



フレイル予防運動のご紹介 ～元気な体で安全就業を！～

「足指じゃんけん」

グー：足の指を全て内側に折り込む

チョキ：親指を立て、残りの4本を内側に折り込む

パー：5本の指をすべて開く

グー→チョキ→パーを1回として、
10回繰り返してみましょう！



【グー】



【チョキ】



【パー】

入会のご案内

越谷市シルバー人材センターでは、働く仲間を募集しています。生きがいの充実や、地域社会のために仕事をしたい方はお気軽にお問い合わせください。



まずは説明会への参加申込みを

説明会は毎月開催しております。開催日程をご確認のうえ、お申込みください。お申込はお電話の他、ファックス・郵送でも受け付けます。

※ お問い合わせはお気軽にセンター窓口またはお電話（048-967-4311）で。



説明会のご案内は地区センターにチラシ設置の他、当センターホームページでもご覧いただけます。

納得いくまで聞いてください

シルバー人材センターで働くことの意義やしくみ等を担当委員が詳しく説明いたします。ご不明な点があれば、納得のいくまで聞いてください。



入会説明会では、事業内容を詳しくお話します。

登録、そして仕事へ

シルバー人材センターの趣旨にご賛同いただけたら、登録となります。得意なこと経験があることなど、ご希望の仕事で地域に貢献していきます。



入会登録会では、お一人お一人のご希望を伺います。

※ 納得して入会していただくために、ご注意ください

- ①センターは自主的な会員組織で雇用・就職ではありません。
- ②入会後の収入や就業機会の保障はできません。
- ③ご紹介できる仕事は臨時的・短期的、又は軽易な仕事に限られます。
- ④センターの運営費として年会費（2,400円）がかかります。
- ⑤雇用保険、健康保険等の社会保険に加入はできません。

編集後記

今回の表紙は、ご存じ「キャンベルタウン公園」のシンボル「時計塔」です。

1984年（昭和59年）4月11日、越谷市とオーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州キャンベルタウン市と姉妹都市提携を締結されました。それを記念してできたのがこの公園です。

大きな石碑がありますが、地面にはブロックでキャンベルタウンを形づくっているようです。

公園横には逆川（葛西用水）が流れ、早朝から「ラジオ体操」のために近隣から健康な老若男女が集って来ます。また、キャンベルタウン市には「コシガヤパーク」が市の中心部に整備されています。

大吉には「キャンベルタウン野鳥の森」があり、オーストラリアの珍しい鳥も展示されています。

「私たちが住む街」で大沢地区の取材をしましたが、旧跡などが多くあり今回だけでは集約できないため、令和6年1月号で続きを掲載したいと思います。

広報委員会委員長 島田 治